

兵庫大学では、地域社会の中で、地域の皆様とともに学ぶ機会を設けています。現代ビジネス学部1年生もさまざまな行事に参加し、地域社会が抱える問題について地域の方々と共に考え、学びました。今回は地域社会とのかかわりの中での学びを中心にお伝えします。

大中遺跡まつりでのボランティア活動

加古川市に隣接する播磨町では、毎年秋に「大中遺跡まつり」が開催されます。平成28年には第26回を迎え、10月29日(土)に前夜祭、11月5日(土)に本祭が開催され、現代ビジネス学科からも2名の学生がボランティアとして参加しました。前夜祭では「かがり火コンサート」の運営スタッフとして参加し、強風の中でしたが、コンサートの準備や受付等を行いました。

「かがやけ！ はじけろ！ 盛り上がり！ 全力で楽しめ！ OPONAKAまつり☆」のローガンのもと開催された本祭は、好天に恵まれ、約35000人の来場がありました。本祭では、熊本・東北物産販売のブースで、熊本や東北の物品を販売し、被災地の復興を願いました。多くのお客様に来店いただき、祭りの終了時刻を前にして完売することができました。



熟議 2016 in 兵庫大学



平成28年11月20日(日)に、「熟議 2016 in 兵庫大学」が本学5号館ラーニングコモンズにて開催されました。熟議の目的は、「世代を超えて、地域課題の解決に向けて考える」ことで、グループごとに議論を重ね、発表します。今回のテーマは、「今、大地震が加古川地域を襲ったら？」で、本学学生、地元の高校生、地域の方々合計75名が参加しました。現代ビジネス学科からも、夏休みに東日本大震災の被災地や熊本県南阿蘇村でのボランティア活動に参加した学生4名が参加し、活発な議論を行いました。

第2回 現代ビジネスプラン・コンペ

平成28年12月18日(日)に、現代ビジネス学部主催 第2回現代ビジネスプラン・コンペ本選を本学17号館407教室にて開催しました。「《第Ⅰ類》あったらいいな こんなビジネスプラン」には第1次審査を通過した4校、「《第Ⅱ類》あったらいいな こんな地域活性化プラン」には5校が出場し、力のこもった素晴らしいプレゼンテーションを披露しました。第Ⅰ類の最優秀賞に輝いた相生学院高等学校による「スカッとGO!」は、今日大きな社会問題となっている歩きスマホを解消するアプリの開発を提案するプランです。第Ⅱ類の最優秀賞 兵庫県立上郡高等学校による「地域固有種『鞍居桃』を活用した地域活性化プラン」は、地元で自生する「鞍居桃(くらいもも)」という直径4センチほどの桃を使って観光客を誘致したりビジネスを立ち上げようとするもので、春は桃の花のお花見、夏は桃の葉でお茶の製造販売、秋は桃の実を使った商品開発・販売、冬は桃の枝を原料に燻製用チップを販売と、季節ごとに桃を活かすアイデアが示されました。

入賞作品は下記のとおりです。いずれも身近な問題・課題をビジネスの力で解決しようとするプランで、甲乙つけがたい力作ぞろいでした。来年も第3回現代ビジネスプラン・コンペを開催する予定です。高校生らしい若さあふれるビジネスプランの応募をお待ちしています。

《第Ⅰ類》 最優秀賞 相生学院高等学校 「スカッとGO!」

優秀賞 青森県立名久井農業高等学校 「リアル農場ゲーム」

特別賞 兵庫県立相生産業高等学校 「廃棄物から作る相生の新ブランド

～瀬戸内の豊富なミネラルを含んだ泡立ち石鹸～

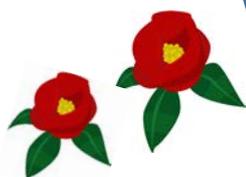
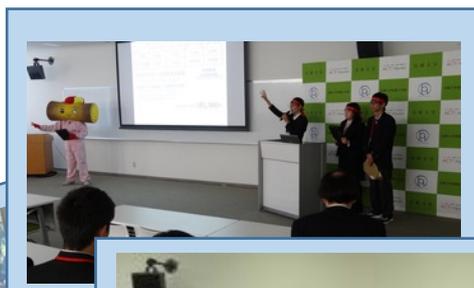
《第Ⅱ類》 最優秀賞 兵庫県立上郡高等学校 「地域固有種『鞍居桃』を活用した地域活性化プラン」

優秀賞 兵庫県立農業高等学校 「地酒の酒粕を有効利用!

～酒粕パウダーが地域につながりをもたらす～

特別賞 神戸星城高等学校 「瀬戸内海が育んだ『めっさい塩(えん)』ブランディング大作戦

～夢の振動水中型波力発電システムによる製塩工場～



Facebook ページ「兵庫大学現代ビジネス学部」にて、現ビズ最新情報を随時発信しています。是非ご覧ください。